れんごう中越地協

第1183号2026.1.5
連合中越地域協議会
長岡市愛宕3-7-24
TEL 0258-86-0111
FAX 0258-86-0884
発行人　長谷川義和
https://tyuuetu.net/

定　価　1部10円
購読料は会費に含む

2026 闘春

連合中越地域協議会 議長　長谷川義和

新年あけましておめでとうございます。日頃は連合中越地協の運動にご理解ご協力いただき、心から敬意を表し厚く御礼申し上げますとともに２０２６年の午年が皆様にとって素晴らしい一年でありますことを心より祈念いたします。

さて、私の議長就任時にもお話をさせていただきましたが、今年の活動の中心となる取り組みについて三点ほどお話をして新年のご挨拶に代えさせていただきます。

まず一つ目は、直近であります春季生活闘争です。

２０２５春季生活闘争では、労使双方の理解のもと、各加盟組合が粘り強い協議・交渉を展開した結果、全体の賃上げ額は連合新潟結成以来最高額となりましたが、実質賃金は９ヵ月連続のマイナス（毎月勤労統計調査９月分確報）となっており、働く仲間の生活はいまだに物価高の影響を大きく受けている状況にあります。

また、金額集計では連合本部（全体が）１６，３５６円、連合新潟（全体）が１３，６１１円と大手と中小の希望規模間、全体と新潟の地域間格差は２，７００円の差が生じました。働き住み続ける地域として、新潟県中越地域が選択されることが深刻化する人手不足の改善につながることから、今春闘では格差是正分を上積みした取り組みをする必要があります。

二つ目は、組織拡大強化です。組合活動の原点は共済活動であり、共済活動は、加盟組合の組織力と組合員がいなければやっていけません。

一例ですが、昨年フジテレビの元タレントと女性とのトラブルから端を発した一連のガバナンスの問題は、労働組合の弱体化が一因といえるかも知れません。まず、約１，１００人もの社員がいながら、オープンショップ制とはいえ組合員が８０人しかいなかったことに驚きました。もし労働組合の組織がより強ければ、今回の問題ももっと早く改善できたのではないでしょうか。今回の件以降、組合員数は８０人から５００人になり、社員説明会やその後の企業変革説明会では労働組合が組織として強化され、要望を出した結果がその事態を動かしたと言えます。

労働組合は経営陣と社員の間の橋渡しの役割を担い、経営陣は社員からの声に対応することで、コンプライアンス違反や不正行為を防ぐことができます。あらためて労働組合の存在意義と組織の重要性を再認識するとともにその拡大に向けて加盟組合員においては中越地協の運動を含め各単組の活動に積極的に参加していただきたいと思います。

三つめは政策実現活動です。昨年の参院選の小選挙区においては地元出身候補を相手に大激戦となりましたが、推薦候補が見事勝利し、改めて中越地協の組織の結束力を再確認いたしました。皆様方にはその行動にご協力を頂き、誠にありがとうございました。

この力を止めることなくさらに拡大していくこと、我々では成し得ない法案改正、インフラ整備等の大きな仕事を我々の代弁者として実現してもらうべく、その為に各組織議員への支援と連携が不可欠であります。

また、地区労働者福祉協議会、市民団体、ＮＰＯ団体とも連携を図りながら、地域課題を共有し、活動を進めてまいります、関連団体様からの引き続きのご支援をお願いいたします。

時代は厳しさが増しておりますが、一致団結して、共に頑張りましょう！！

明けましておめでとうございます

議長　長谷川義和
副議長　五十嵐　聡　（ＵＡゼンセン）
副議長　大野健太郎　（ＵＡゼンセン）
副議長　番場　睦　（ＪＰ労組）
事務局長　渡辺　将史　（電力総連）
事務局次長　横澤　勝之　（自治労）
幹事　半間　陽介　（日教組）
幹事　中村　憲和　（自治労）
幹事　飯田　浩二　（ＵＡゼンセン）
幹事　小原　洋輔　（ＪＡＭ新潟）
幹事　船山　大志　（電機連合）
幹事　皆川みどり　（ヘルスケア労協）
幹事　星野　弘樹　（自動車総連）
幹事　渡部　洋平　（運輸労連）
幹事　小坂井康裕　（私鉄総連）
幹事　佐藤　昌和　（基幹労連）
幹事　高平　光　（ＪＥＣ連合）
幹事　小林　一由　（全水道）
幹事　五十嵐　厚　（見附支部）
幹事　内山　聖己　（小千谷支部）
幹事　登坂　仁　（北魚沼支部）
幹事　長谷川邦彦　（南魚沼支部）
幹事　宮内　崇志　（十日町支部）
幹事　島津　斉正　（ＳＪネット）
幹事　岡田　香織　（ＳＪネット）
幹事　島倉　由佳　（ＳＪネット）
幹事　岡地　英紀　（紙パ連合）
会計監査　樺澤　安利　（全労金）
会計監査　木田由紀子　（事務局）

連合中越第1回幹事会兼新旧役員引継会

本年もよろしくお願いいたします

第1回幹事会兼新旧役員引継会

連合中越地協第１回幹事会が、12月19日（金）午後６時から社会福祉センタートモシアで開催されました。長谷川議長は開会の挨拶で、「定期総会で新役員体制となって早くも1ヵ月が過ぎた。年が明けると春闘も本格的に始まる。長岡地区メーデーも4月25日開催としたことから内容も変更する。集中して議論をお願いしたい。」と述べました。

次に前回の幹事会（11月６日）以降の報告として、第35回定期総会の総括、連合新潟「26春季生活闘争基本構想」、長岡市への市政要望書提出、各支部総会の開催状況などが報告され、承認されました。次に審議事項が協議され、幹事会役員体制と任務分担、当面の日程、26春季生活闘争関係、ワーク&ライフセミナーの日程が決定されました。また、メーデー長岡地区大会の基本計画も確認しました。

幹事会後は、新旧役員引継ぎ会が行われ、前議長の矢島さん、前幹事の石坂さん、岡村さん、権頭さん、長谷川さんから思いを込めた挨拶がありました。最後は、島津幹事・ＳＪ委員長の締めで有意義な会を閉じました。

2026春季生活闘争日程

２月６日（金）　第101回地協委員会
（前段で連合新潟春闘方針の説明会）
２月27日（金）　部門別連絡会
３月４日（水）　長岡地区春闘総決起集会
※開始時間はいずれも18時の予定

メーデー長岡地区大会基本計画

開催日　２０２６年４月２５日（土）
会　場　長岡市立劇場大ホール
内　容　9:45～　メーデー大会
11:20～　デモ行進（会場発着の予定）
13:00～　記念イベント（講演会など）
11時からマルシェも開催
※詳細は今後決定。時間は予定です。

ＳＪネット委員会第２０回総会

ＳＪネット委員会第20回総会が12月10日（水）午後６時30分から長岡市立劇場大会議室で開催されました。総会は、松田代議員（自治労）と富所代議員（ＵＡゼンセン）を議長団に選出し始まりました。権頭委員長は総会開催に際し、「ＳＪネット委員会は一年間様々な活動をしてきたがもっとやれることはあると思う。本日の総会でＳＪネット委員会の活動をご理解いただき、その活動に多くの組合員から参加していただきたい」と挨拶しました。

一年間の活動報告は冨井事務局長から、「委員会と委員会運営」、社会活動としての「農園事業」、地域協議会活動への参加、スポーツ交流会、ユニオンパワーアップセミナーなどが報告され、拍手で承認されました。第１号議案26年度の活動方針として、「組織活動」「社会活動」「レク・スポーツ活動」「教育宣伝活動」を行う方針を提案し、全体の拍手で承認されました。続いて、第２号議案として、役員の選出について提案し、島津斉正委員長以下の役員体制が満場の拍手で承認されました。

その後、新役員の紹介と退任役員の挨拶が行われ、最後に島津委員長の団結ガンバロウで新年度のスタートを切りました。

第1183号（毎月１回5日発行）　れんごう中越地協　2026年1月5日

新年ごあいさつ

長岡市長　磯田達伸

明けましておめでとうございます。謹んで新年のお慶びを申し上げます。

連合中越の皆様におかれましては、日頃より勤労者の権利向上や福祉充実のためにご尽力いただき、また、行政や関係機関との橋渡し役として多大なるご協力を賜り、心から感謝申し上げます。

とりわけ、連合中越など関係団体の皆様が運営する新潟県ライフサポートセンターでは、専門家と連携し、生活に密着した労働問題や心の相談支援を積極的に実施し、多様な勤労者の支えとして重要な役割を果たしております。今年度も多くの相談が寄せられていると伺い、その存在意義はますます高まっております。今後もより一層のご活躍を期待申し上げます。

社会経済の変動が激しく、物価上昇や円安の影響が勤労者の生活に直結しています。長岡市としては、地方最低賃金審議会に対し、最低賃金の引き上げを引き続き強く要請するとともに、賃金改善を通じた暮らしの安定に全力で取り組んでおります。

また、「ながおかマッチボックス」では、求職者が生活スタイルや事情に合わせて働ける仕組みをデジタル技術で提供し、特に子育て世代や高齢者、障害のある方々など多様な働き手に柔軟な就業機会を創出しています。

さらに、「ながおか働き方プラス応援プロジェクト」に参加する３００社超の企業と連携し、長時間労働の是正や育児・介護支援の拡充など、誰もが働きやすい環境づくりを地域全体で推進中です。

未来を切り開く鍵は「人」と「産業」です。東京一極集中が加速する中、ソフトウェア開発、コンテンツ産業など、若者や女性が活躍できる働く場の創出を進めます。さらに、企業誘致や起業支援に積極的に取り組むとともに、ＤＸやＡＩを活用した行政サービスの効率化と産業の生産性向上を図り、市民の暮らしをより豊かに、安全で便利にします。

来年度には、「米百俵プレイスミライエ長岡」が全館オープンし、人材育成と産業振興の拠点として一層の役割を果たします。米百俵の国漢学校の跡地という長岡のまちづくりの源泉となる場所から、人材育成とイノベーションを広げ、中越圏域全体の経済活性化を目指してまいります。

連合中越の皆様と手を携え、すべての勤労者が安心して働き続けられる環境整備にいっそう努めてまいります。本年も変わらぬご支援とご理解を心よりお願い申し上げます。

結びに、皆様のますますのご健康とご多幸をお祈りし、新年のご挨拶といたします。

新年ごあいさつ

見附市長　稲田　亮

新春を迎え、謹んで新年のお慶びを申し上げます。

連合中越の皆様におかれましては、日頃より勤労者の地位向上や福祉の充実に向け、様々な取り組みを進められていることに、深く御礼申し上げます。

見附市では、市民の皆様との対話を大切にし、誰もが「このまちで暮らせてうれしい」と実感でき、自然と笑顔があふれる「魅力あふれる見附の未来」を目指して、市政を進めております。

「魅力あふれる見附の未来」を築く上で、最も重視すべきは、「人口減少対策」。特に次世代を担う若者や子育て世代に「選ばれるまち」であるための取り組みだと考えております。移住定住促進では、昨年策定した戦略に基づき、「お試し移住住宅」や市民の声掛けによる「つながり移住支援金」などを開始しており、今後もさまざまな取り組みや発信強化を展開してまいります。また、若者向けの魅力づくりとしては、「稼げる産業」と「子育て・教育」が大切だと考えております。「産業振興」では昨年、課題の人材確保に向け、求職者と事業者をデジタルでつなぐ「みつけマッチボックス」がスタートし、「農業女子の会」も設立されました。企業誘致に向けては、昨年、国の重点促進区域認定を受けるなど、環境が整いつつあり、民間の動きと連携しながら環境や体制整備を進めるなど、稼げる産業界を目指して後押しを行ってまいります。

「子育て」に関しては、保育料負担の軽減を図ったほか、こどもたちが直接選ぶ大型遊具の、道の駅パティオにいがたへの設置に向けて検討を進めております。「教育」では、本格開始から2年目を迎えた「Ｊｏｂ（ジョブ）チャレ教育」について、昨年策定した市内協力事業所が掲載されている「Ｊｏｂチャレ図鑑」も活用しながら、さらなる充実を目指します。

加えて、どのような年代や境遇の方も「誰１人取り残さないまち」を目指します。自主防災組織や地域コミュニティとも連携した災害への備えの強化のほか、地域医療の充実に取り組みます。また、昨年施行した「障がいを理由とする差別のないだれもが共に暮らせるまちづくり条例」に基づいて啓発や環境づくりを進めてまいります。

今後10年間のまちづくりの方向性を示す新しい総合計画案もまもなく公表します。この計画のもと「暮らし満足Ｎｏ．１のまち」に向けて、あらゆるチャレンジを続けてまいります。

結びに、皆様にとって、新年が幸多い年になりますことを心よりお祈り申し上げ、新春のごあいさつとさせていただきます。

中越地域退職者連合が長岡市・見附市に社会保障制度にかかわる要請を行う
高齢者が生き生きと安心して暮らせる社会を求めて

中越地域退職者連合は、12月9日に長岡市、12月19日に見附市に対し、介護保険制度および社会保障制度を中心とした要請行動を行いました。

長岡市では、渡邉副市長をはじめ福祉保健部長、関係課長など市側11名が出席し、退職者連合からは西片会長ほか役員7名、連合中越地協の横澤事務局長が参加しました。冒頭、西片会長から要請書を手渡し、高峰事務局長が要請内容を説明した後、意見交換を行いました。

見附市においても、吉原副市長をはじめとする市側関係者と、退職者連合役員、連合中越地協、連合推薦の佐々木市議、樺澤市議が出席し、同様の進行で要請と意見交換を行いました。

要請内容は、医療・介護体制の充実、介護労働者の処遇改善、認知症対策、ひきこもり支援、身寄りのない高齢者や低所得高齢単身者への支援強化など、多岐にわたりました。意見交換では、両市とも問題意識を共有し、前向きな姿勢が示され、一定の改善が進んでいることを確認しました。

回答は後日、文書および電子データで提出される予定です。今後も社会情勢の変化を踏まえ、要請活動を継続していきます。（退職者連合　高峰事務局長）

ながおかワーク＆ライフセミナー開催予定

第２講座　ひきこもりと地域のつながりセミナー
- と　き：　２月５日（木）　13:30～16:50
- ところ：　アオーレ長岡市民交流ホールＢ．Ｃ
- 開催団体　認定特定非営利活動法人ＵＮＥ

第３講座　夜職(よるしょく)女性の現場から考える　女性の貧困とは
- と　き：　２月７日(土)　14:00～15:30
- ところ　長岡市立劇場　大会議室
- 開催団体　ＮＰＯ法人女のスペース・ながおか

第４講座　こども食堂ってなあに
- と　き：　２月１５日(日)　13:30～15:00
- ところ　アオーレ長岡　市民協働ルーム
- 開催団体　長岡こども食堂・地域食堂ネットワーク

詳しくは連合中越ホームページで

新潟県労働金庫 長岡エリア店